

議 平生町  
**議会だより**

第 110 号  
 2009年 1月23日

発行：平生町議会  
 〒742-1195  
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
 発行責任者：田中 稔  
 編集：議会広報広聴調査特別委員会



水しぶきの花が咲いた一斉放水（1月4日 出初式）

12月 議会報告 いっぱん質問	定例会・委員会審査報告……………	2ページ
	いっぱん質問……………	3ページ
	臨時会……………	7ページ
	研修報告……………	8ページ

第6回  
定例会

# 地域活性化・緊急安心実現 総合対策交付金を活用

平成20年第6回平生町議会定例会が12月11日から18日までの8日間の日程で開かれました。議案は補正予算8件、条例7件、事件4件、諮問1件で、19件を原案どおりに可決し、条例1件を継続審査としました。一般質問は5人の議員が町政の課題を質しました。

今回の12月補正予算は、4月・10月の人事異動による人件費の増減や各種事業の確定見込みと国の経済対策による「地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金」によるものが主なものです。  
一般会計では2616万円を追加し、予質総額は47億8002万円となります。

### 主な歳入

- ▽町たばこ税 200万円減額
- ▽地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金 973万円増額
- ▽国庫支出金 591万円増額

### 主な歳出

- ▽救急医療用の備品購入 209万円増額
- ▽保育所運営費 1764万円増額
- ▽学校管理費 平生小耐力度調査 200万円増額
- 平生中学校舎耐震二次診断 300万円増額
- 特別会計は、3786万円追加補正し、総額36億8416万円となります。
- ▽国民健康保険事業 前期高齢者交付金 4246万円増額
- ▽下水道事業 一般会計繰入金 1011万円減額
- ▽後期高齢者医療事業 特別徴収保険料 1140万円減額

## 委員会審査報告

### 上殿地区の自然災害防止事業は 今回で終了

平成20年12月11日の本会議から付託を受けた所管事項について、12月15日に委員会室で慎重に審議しました。その結果、すべて全会一致で承認しました。

#### 産業文教 補正予算

- 質 砂防費の自然災害防止事業はこれで終了か。
- 答 上殿地区の急傾斜地で、県事業の負担金は今回で終わる。
- 質 共済費の共済組合費がそれぞれ補正さ

### 水道事業高料金対策は広域の課題

#### 総務厚生

本会議から付託を受けた所管事項について12月16日に委員会室で慎重に審議しました。その結果、条例一件を継続審査することとし、他の議案は全会一致で承認しました。

#### 補正予算

- 質 水道事業高料金対策事業の県補助金は今後どうなるのか。
- 答 これは広域水道などの水価の高料金を対しての県補助で、

れる理由は何か。

答 4月と10月の人事異動と、長期経理の掛金の率の改定に伴うもの

質 図書館の本を町民に寄贈してもらう取り組みはできないか。

答 申し出があれば利用見込みなど判断して受けている。

答 保険適応分の自己負担分を3万円を上限として県と町で1/2ずつの補助。治療には時間がかかるため、4月より2年から5年に拡大された。

### 条例

「平生町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」では、し尿処理手数料の改正は、引き続き慎重な調査が必要であるという意見が多数を占めた。その結果、継続して十分な審査を行うこととした。



淵上正博 議員

# いっぱん

## 町政を問う 質問

### 質問 国保、資格証明書の発行は

### 答 きめ細かい相談体制で

質問

国民健康保険証の取り上げ、資格証明書の発行は国保法改悪で市町村に義務付けられて以降大幅に増えた。災害や病气、失業など「特別な事情」がある人は対象外である。自治体の裁量で特別な事情の範囲を広げることも可能である。町民の命と健康を奪う国保証の取り上げは直ちにやめるべきだと思うが、町の対応は。

答弁 町長

本町では、一年間払わなければ取り上げるという機械的なこととはしない。滞納の場合は、文書、電話、訪問など接触機会を持って協議し、被保険者証の返還や資格証明書の交付にならないよう努力をしている。事情がある世帯については短期被保険者証でカバーし、きめ細かい相談体制を堅持していきたい。

国民健康保険被保険者資格証明書	
交付年月日	年 月 日 交付
有効期限	年 月 日まで
記号	資一 番号
世帯主(組合員)	住所 氏名 男・女
被保険者(被扶養者)	氏名 男・女 生年月日 明・大・昭・平 年 月 日 資格種別 1. 一般被保険者 2. 退職被保険者 3. 2.の被扶養者
保険者	保険者番号並びに保険者の名称及び印

医療費が全額負担になる資格証明書

### 質問 全国学力テスト調査結果の公表は

### 答 公表はしていない

質問

全国学力テストの実施要領は、「序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮する」「市町村名、学校名を明らかにした公表は行なわない」と明記している。しかし、一部の自治体では公表している所もある。公表については、実施要領どおりにすべきと思うが、当町の考え方は。

答弁 教育長

本町教育委員会としては結果の公表はしていない。本町では学校数が少く、町の結果そのものが、学校の結果となる。公表することで点数至上主義になってはいけないし、公表することでも逆に意欲をなくすことも考えられ、学校間の競争にもなる。学力テストの点を上げるための授業になってはいけないと考えている。



3年生が対象となる全国学力テスト



細田留美子 議員

質問

町内で出土した土器など貴重な展示物のある歴史民俗資料館と生活民具など600点を持つ民具館の利用状況と運営方針を聞く。施設の利用促進の方法として、資料館の仮展示室に民具館への誘導は考えられないか。わが町の宝物である二館のさらなる利用は考えられないか。

質

わが町の宝 歴史民俗資料館と民具館を生かせ

答

総合的に取り組む

答弁 教育長

利用状況は、年平均で歴史民俗資料館2350人、民具館550人となっている。運営方針は学習施設として位置づけ、多数の利用者が望ましい。入館者が少ないことはPR不足だと考える。施設の利用増進の方法として、仮展示室でのイベントは一つのテーマであれば可能であ



もっと利用が望まれる民具館

り、これから児童の放課後教室、生涯学習と総合的に取り組む。

質 認知症の多様な予防対策を

答 地域や社協と連帯して進める

質問

認知症対策は高齢社会の最大の問題と言われている。

町内の高齢化率は28%で認知症の予防対策は急務である。現在の取り組み状況と、新しい取り組みとして回想法などは考えられないか。また認知症となっても、本人や家族、地域も安心して暮らせる認知症対応型の社会づくりは考えられているかを問う。

答弁 町長

予防対策として、平成18年に出席者221名の予防講演会を実施。社協では脳トレ教室などを開いている。認知症を正しく理解して、家族を温かく見守るといふ、認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターを中心に続けていく。また、介護予防と一体で、支え合いマップづくりを地域、社協と連携して進めていく。

あなたの町を、「認知症になっても安心して暮らせる町」に。あなたが変われば、町が変わります。

「認知症を知る1年」キャンペーンのパンフレット



平岡正一 議員

障害者が介助をお願いすると”応益“負担とし料金を取られる。減免の申請をすれば、貯金通帳のコピーの提出を求められる。来年秋から、住民税を年金から引くために、国の外郭団体などに町財政の上納が進んでいく。

質問

答

質

就任10年  
町民の期待に込めているか

町民の要望を念頭におき  
対応してきた



親切な窓口対応（健康福祉課）

法律に基づいて適切に行政を執行していくことが首長に課せられた責務である。また一方で、地方の切実な声や実態、我々の置かれている状況については、しっかりと県や国へ訴えていく役割もある。

答弁

町長

いろいろな機会をつかまえて、県や国に対して、住民の立場から、あるべき姿を訴えていく。

質

学力向上、学校の安全  
新教育長の抱負は

答

より良い教育環境と  
安心安全を確立したい

質問

山陽小野田市教育長は就任直後から「早寝、早起き、朝ごはん」「短時間集中反復学習」に取り組み、注目すべき成果をあげている。学校の耐震化が進められているが、建て替えも視野に入れた計画を立案すべきと思う。町職員の経験を生かし、新しい視点で、スピード感のある教育行政を期待しているが、新教育長の抱負は。

答弁

教育長

教育の目標は、一人ひとりの人間が主体的、創造的に生き抜いていく力をあわせ持つこと。すべての子にとって心の居場所となり、好ましい人間関係が体験できる、人生の最初の舞台となるよう、学校現場、PTA、地域等、より良い教育環境をつくりたい。また、児童、生徒の安心、安全については、できる限りのことをしていく。



心の居場所としたい平生小学校



藤村政嗣 議員

**質** 新年度予算の最重要課題は

**答** 実質公債費比率  
平成23年度に18%以下へ

質問

平成21年度一般会計予算編成が各課で準備されているが、新年度予算の最重要課題を町長として、どのような方針を指示されたか。次に、財政健全化計画についての2年から3年の中期見通しと、財源確保対策検討チームの効果についてたずねる。

答弁 町長

来年度は、「選択と集中」による行政改革と財政の健全化の推進」と位置づけ取り組んでいく。現状は大変厳しく実質公債費比率<sup>\*</sup>では18・9%となっている。これを平成23年度に18%以下に抑えていく計画としている。財源確保対策検討チ



21年度予算編成がされている町役場

ームの効果としては、約450万円の改善につながっている。

<sup>\*</sup>実質公債費比率

各自治体の公債費による財政負担の割合を判断する指標で、3か年の平均で示される。公債費とは、自治体が発行した地方債の元本の返済や利息の支払などに要する経費です。

**質** 職員の定数管理は

**答** 定年退職は欠員不補充

質問

職員の定数管理について課制条例も提案されているが、このことよって事務量の均衡が図れるのか。ある課では毎晩残業をしているが、事務量のバランスを図る必要があると思うがどうか。

答弁 町長

班編成については、事務量の均衡をはかる意味から、今回はトップダウンではなく現場の声を重視した。定数管理では、条例定数158名となっているが現職員は135名である。定年退職は基本的に欠員不補充という方針である。依願退職の補充については、状況を見ながら対応していく。





河藤泰明 議員



地域の安全を守る消防団（1月4日観閲行進）

**質** 防火行事の評価と今後の課題、方向性は

**答** 防災意識の向上と改善を図る

質問

防火行事の評価と今後の課題と方向性を問う。

町民と協働で被害拡大を防ぐため町民の立場にたったシステムを

構築し、わかりやすい説明は。

また「町民の生命と財産を守る」ために、団員の作業服や消火設備等の更新や充実。団

答弁 町長

曾根地区での合同訓練は、自主防災組織が実施主体となり、画期的な取り組みであったと思う。地域の防災意識の向上につながっていくと考えている。2年後、県の防災訓練が平生町で実施される。成功に向けて、今から準備していく。消防団の団員の士気が高まるように財政状況を踏まえ、着実に改善を図るところは改善を図っていききたい。

人権擁護委員任命に同意



五味洋子さん

人権擁護委員の任期満了に伴い元佐賀小学校長の五味洋子さん（63歳）を新たに任命することに同意しました。なお、4期12年にわたり同委員を務められた立野恭子さんは勇退されました。

第5回 臨時会

平成20年第5回平生町議会臨時会が12月2日に開かれました。提出議案は、一般会計補正予算1件です。補正予算は、平生小学校の普通教室棟と佐賀小学校の普通教育棟及び特別教室棟の外壁改修工事費等、253万円、平生小学校、給食平皿の購入費用、64万円が追加補正され、全会一致で可決しました。

# 研修報告



各町ごとにクリニックを受けた研修会  
(11月14日：セントコア山口)

平成20年10月16日、熊毛郡議会広報連絡協議会視察研修会が実施され、広島県安芸郡熊野町と坂町に出向き、「議会広報の編集体制・方針について」の研修を行いました。

各町の議会だよりについても質疑応答や意見交換をしました。各町ともそれぞれに特徴があり、今後の議会だよりの作成に、分かりやすい広報誌づくりに取り組んでいきたいと思えます。また山口県町議会広報研修会が11月14日山口市のセントコア山口で開催されました。山口新聞特別編集委員の佐々木正一氏から「個性的地域創造と広報」と題して講演を聞きましした。目まぐるしく進化する時代の広報戦略について大変参考になりました。



活発に意見交換がされた研修視察（10月16日：熊野町）

## 原稿募集

議会のこと、我が町自慢、  
つれづれに思うこと何でも結構です。

- ・ 字数 400字以内
- ・ 締切日 平成21年3月31日
- ・ 提出先 平生町役場議会事務局  
議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります、  
ご了承ください。  
掲載文には薄謝を差しあげます。

## 議会の動き

(H 20 / 9 / 11 ~ 12 / 10)

- 平成20年9月11~24日 第4回定例議会
- 9月11日 全員協議会
- 9月11日 議会広報広聴調査特別委員会
- 9月24日 議会運営委員会
- 9月29日 議会全員協議会
- 9月30日 議会広報広聴調査特別委員会
- 10月3日 山口県自治研修会
- 10月6日 熊毛郡町議会合同研修大会
- 10月6日~10月7日 総務厚生常任委員会 行政視察
- 10月8日 産業文教常任委員会 行政視察
- 10月8日 議会広報広聴調査特別委員会
- 10月15日 議会広報広聴調査特別委員会
- 10月16日 熊毛郡議会広報連絡協議会 研修会
- 11月6日 議会運営委員会
- 11月14日 県町議会広報研修会
- 11月20日 産業文教常任委員会
- 11月21日 総務厚生常任委員会
- 11月28日 議会運営委員会
- 12月2日 第5回臨時議会
- 議会全員協議会

## 編集後記

▽新年あけましておめでとございます。  
今年の年明けは穏やかな幕開けとなりました。皆さまには良いお正月をお迎えになられたことと思います。  
▽昨年は食品の安全や米国発の金融問題に荒れた年でした。  
▽今年も今年です。やさしい目をした実直な牛のように小さな幸せを見つけて過ごすことのできる年にしていきたいと思えます。  
▽地球はもろく薄い大気圏という空気の層で覆われています。  
このすばらしい星を守るため環境保護を一人ひとりが考え実行していくことが必要です。虚に踊らされず足元を見つめる変換の年です。  
▽今回の議会だよりは皆さまがより読みやすいよう一新しました。今年もどうぞよろしくお願いたします。

細田留美子